

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 018	提案機関名 一般社団法人神奈川県畜産会
要望問題名 唯一無二のブランド豚確立のための有用遺伝情報を有する種雄豚の増殖と遺伝情報を活用した豚肉生産技術の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 他にない本県しかない特徴ある銘柄豚肉を作出するため、その特徴を生産者総意のもと決定し、その特徴の発現を期待できる遺伝情報を特定し、その遺伝子を持った雄豚系の増殖（精液供給）に取り組んでいただきたい。また、今後ますます利用が想定される遺伝情報を活用した豚肉生産技術の開発に取り組んでいただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>発現形質と遺伝子情報の特定は、表現型値と遺伝子型の判定が必要です。肉質や産肉性などの経済形質について関連遺伝子の報告がされており、こうした既報を参考として検討を進め、関連遺伝子型を持った集団にゲノム育種価を利用し種豚の選抜を行うことが考えられますが、実際にターゲットとする関連遺伝子の検討や選抜候補集団の構築など課題事項が多く、現状の体制では実施困難と考えます。</p> <p>御要望にある“生産者総意のもと決定”された“特徴ある銘柄豚肉の作出”は銘柄豚肉に求められる特徴、作出方法には施策的な内容も含まれていますので畜産課に報告します。また、精液供給につきましても現状当所としては体制が構築されておらず、施策的な内容ですので畜産課に報告します。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			